

DISTRICT 2650

Rotary
Club of Nara-West



Rotary Club Of

NARA-WEST

WEEKLY BULLETIN

No. 2589

2026. 8. 27

創 立 1969年(昭和44年)12月13日

例会日 毎週木曜日18:00より

事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地

例会場 奈良ロイヤルホテル内

TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

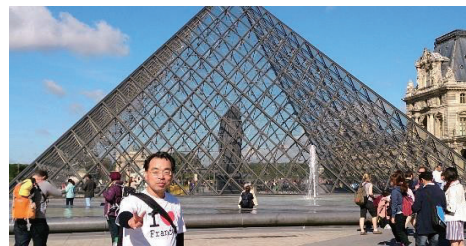
2026～2027年度
国際ロータリー会長メッセージ



国際ロータリー会長
オンラインカ・ハキーム・ババロラ

2026～2027年度
地区基本方針

「新しい扉を開く」
成長と持続のバランスをととのえる一年に



パリ ルーブル美術館

RI第2650地区ガバナー
平野 洋一

会 長 井上 直治	副 会 長 川崎 祥記	副 会 長 佐川 寛一	会長エレクト 東山 光秀	直前会長 杉村 仁
幹 事 松中 隆	会 計 小松 玲子	会場監督 川上 顕慶	理 事 東山 光秀	理 事 丸山 佳映
理 事 木村 和弘	理 事 中井 肇一	理 事 安井 清悟	会報委員長 下村 由加里	

今月は 会員増強 新クラブ結成推進 月間です

第6回(2589回)例会プログラム令和8年8月27日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「奈良西RCの歌」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 卓話:「東大寺大仏殿を描くライブペイント」
洋画家 川畑 太 様
9. 閉会宣言 点鐘

第5回(2588回) 例会報告 2026. 8. 20

早朝移動例会

霊山寺にて

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2588 回	20	1/1	13/19	6	70.0%
通算2586回修正	20	1/1	12/19	7	65.0%

会長の時間 (井上会長)

皆さん、おはようございます。本日は早朝から、こうして奈良西ロータリークラブの例会にご出席いただき、ありがとうございます。そして何より、本日は私たちの会員でもあります東山光秀管長のご厚意により、ここ霊山寺をお借りして例会を開催できますこと、心より御礼申し上げます。

朝の霊山寺は、普段の例会場とはまた違った、清々しい空気に包まれています。こうして静かな境内に身を置きますと、日頃の忙しさから少し離れて、自分自身を振り返る時間を持つことの大切さを感じます。

霊山寺は、今から約1,300年前、聖武天皇の時代に開かれたとされる大変歴史のあるお寺です。その長い歴史の中では、さまざまな時代の変化があり、多くの人々の人生がありました。

そして、つい先日の8月15日、私たちは終戦から81年となる「終戦の日」を迎えました。81年前には戦争の中にあった日本が、今日こうして平和な朝を迎え、私たちがロータリークラブの仲間として集まり、笑顔で語り合える。これは決して当たり前のことではないと思います。

世界では今も戦争や紛争が続き、社会ではAIをはじめとする技術の急速な進歩によって、私たちの生活も大きく変わっています。だからこそ、ロータリーの「奉仕」という考え方は、これからますます大切になるのではないのでしょうか。人と人とのつながりを大切に、地域のために何ができるかを考える。大きなことではなくても、一人ひとりができることを積み重ねていく。本日のこの清々しい朝を一つの機会として、私自身も改めてそのことを考えてみたいと思います。

最後になりましたが、東山管長、本日は本当にありがとうございます。これをもちまして、会長の時間とさせていただきます。本日はありがとうございました。

井上直治会長、安井清悟P会長、小松玲子会員、木村和弘会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員
東山菅長、早朝例会ありがとうございます。

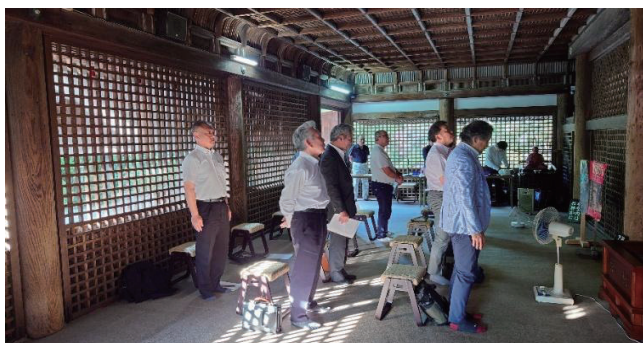
杉村仁P会長

本日早朝例会、清々しく参加できニコニコです。菅長様、本日は有難うございます。

東山光秀会員

本日は例会を靈山寺で開催していただきありがとうございました。

早朝に静かな中、冷房のない本堂での例会も良い体験だと思います。



努力とは何か

努力とは何かということをよく考えます。

努力というと、いかにも前向きに進む努力ばかりを考えがちです。前向きの努力とは、つまり新しいことに挑戦することか、生産や販売の成績を上げるとか、そういったことを指すわけです。たしかに、それも努力には違いありません。

しかし、私は別の意味で努力ということを考えるのです。先ずはじめに、あきらめることも努力ということです。あきらめるというと、何か情けないことのような気がしますが、そうじゃない。仏教ではあきらめるを「明らめる」や「諦める」と表記して、明らかに見る、あるいは明らかに究めることであるとします。諦めるの「諦」^{たひ}とは真理であり、悟ります。つまり何を捨てて何を得るか、それを明らかにすることが大切だという意味です。

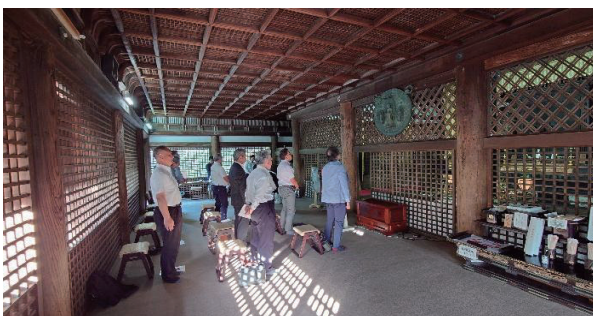
人は一生の内でも多くのものを得るでしょうが、それは同時に多くのものを捨てることでもあるのです。一つのことを得るために、二つのことを捨てねばならないことだってある。人生はあきらめることによって、多くを捨てることによって、逆にまた多くを得るという事実を知らねばなりません。

それから、待つことも大切な努力です。待たなければ進めないという時が必ずある。一步進むために、二歩さがって

待たねばならない時だってある。進むべき時に進むためには待たねばなりませんし、また待つべきものなのです。

そう考えると、努力すべきことはほかにもたくさんあります。耐えることも努力です。忘れることも努力です。反省も努力です。認めることも許すことも努力です。しっかり食べることも休むことも努力です。

こういうことに気づかぬ人は、ただ前向きの努力ばかりしか考えないし、そういう眼でしか人を見ません。そして、いかにも努力らしい、目立った努力しか認めないのです。これでは人の考えを理解することも、自分の目標を達成することもできないと考えます。



第1回内輪会 （佐川内輪会幹事）

8月20日、飛鳥カンツリー倶楽部にて第1回内輪会が開催されました。結果を御報告致します。

優勝、東山会員（2連覇）

2位、丸山会員

3位、中井会員でした。

皆様、暑い中、お疲れ様でした。

次回の第2回内輪会の日程は、令和8年10月15日木曜日、休会の日です。場所は未定でございます。

決まり次第、お知らせ致します。会員の皆様、奮って御参加して下さい。



第7回（通算2590回）例会予告

例会日 令和8年9月3日（木）

第5回理事会

卓話：「全日本音楽教育研究会様・奈良YMCA様・
とみきた教育協議会様による卓話」